

折に触れ 四字熟語

NO. 4 『別趾適履』 げっし てきく

< 意味 > 足が大きくて靴に入らないため、足先を切り落として靴に合わせるという意味。転じて、本末を取り違えて、無理に物事を行うこと。折り合いを付けて無理に合わせること。目先のことにとらわれて根本を考えないたとえ。

一 言： 痛そうシリーズその2

新聞やテレビ報道を賑わす事件や事故の背景をよく知ると、この四字熟語が当てはまることが多いですね。つい最近の自動車メーカーによる一連の燃費偽装など、その時そのときの目標をクリアするために本末を取り違えてしまったようです。結果、事業の存続という根本にまで問題が及んできてしまい、該当の企業はこれからどうなって行くのでしょうか。別は切る、趾は足、履は靴の意。これも痛そうな四字熟語です。中国人の表現は、と言ったら、今でも「会社を首になった」とか「詰め腹を切らされる」とか表現する日本人が何を言うかと反論されそうですね。

同様の意味の四字熟語「削足適履」「別足適履」もあります。

参考文献： 漢検「四字熟語辞典」